

突哨山運営協議会 2021年度 第14回総会

2021年5月24日 18:30～

旭川市職員会館

総会では以下の確認、検討、可決がされました。

青字は発言内容です。

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 桐一郎 尾崎良司 澤田勇 工藤稔

寺島一男 山本牧 旭川市公園みどり課 笹川主査

以上 個人9名 団体1名 計10名

委任状提出者 舟橋健 (その他無効2通あり)

以上 個人1名

委員総数19名中11名の出席と委任状の提出がありました。

事務局 中村直人 富岡雅志

出羽 議長の選出から始めたいと思います。どなたかいらっしゃいますか。なければ事務局から提案ありますか。

中村 議長を寺島さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

全員 拍手

寺島 それでは早速始めたいと思います。出席者、委任状合わせて過半数に達しているということなのでこの総会は成立ということになります。議事の流れとしては前年度の報告である2番まで進め、その後で質疑応答の時間を設けたいと思います。その後今年度の計画案から6番の委員の募集と役員の改選についてまで進め、質疑応答の時間としたいと思いますがいかがでしょうか。

全員 了解

寺島 それでは事務局から報告お願いいたします。

議 事

- 1 2020年度の活動報告
- 2 2020年度の決算報告
監査報告
- 3 2021年度の活動計画案
- 4 2021年度の予算案

- 5 規約について
- 6 委員の募集と役員の改選について
- 7 報告事項

1、2020年度の活動報告

経過 2020年 5月25日 総会
7月27日 第1回協議会
9月28日 第2回協議会
12月 1日 第3回協議会
2021年 3月15日 第4回協議会

(1) 森林の取り扱い（指定管理事業）

- ・天然林 A～C：これまでと同様、自然の推移を見守り原則手を入れなかった。遊歩道にかかった、またはかかる恐れのある倒木、傾倒木は伐採し遊歩道脇に集積した。
- ・人工林 D：2020年度の人工林間伐対象は7ヶ所（人工林番号区分）。対象面積は約2ha（20,450 m²）。今回の間伐で2013年から行っている人工林総面積6haのうち2回目の間伐となります。エリアごとの特徴に応じた方針に基づき実施しています。また、扇の沢分岐から北分岐にかけての比布町側人工林において、遊歩道に倒れる危険性のある枯損木が多数（約200本）あることを比布町に報告しています。2021年度には除去作業を実施する予定です。
- ・草地 E：遊歩道上への落枝処理、危険木処理を行いました。遊歩道以外については自然の推移を見守り、作業は実施しませんでした。

(2) 年間活動一覧

2020年

- ・4月 3日 雪上ヒグマ痕跡調査（もりねっと）
- ・4月17日 突哨山駐車場トイレ設置（もりねっと）
- ・4月18日 遊歩道整備作業（もりねっと）
- ・4月19日 カタクリ広場ハウスがけ作業（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・4月24日 比布トンネルカタクリ移植場所視察
- ・5月14日 ササカタクリ調査

- ・ 5月30日 ヒグマ出没による一時閉鎖
 - ・ 6月10日 カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会）
 - ・ 6月10日 突哨山駐車場草刈り（もりねっと）
 - ・ 6月11～17日 遊歩道草刈り（もりねっと）
 - ・ 6月17日 ヒグマ調査（もりねっと・公園みどり課）
 - ・ 6月18日 一時閉鎖解除（もりねっと）
 - ・ 7月 6日 近二小1・2年突哨山活動（もりねっと）東鷹栖14線山林
 - ・ 7月 8日 近二小3・4年突哨山活動（もりねっと）東鷹栖14線山林
 - ・ 7月 9日 近二小5・6年突哨山活動（もりねっと）東鷹栖14線山林
 - ・ 7月16日 東大奥崎氏ミミズ採集調査 木もれび分岐から南折り返し付近
 - ・ 7月19日 外来植物抜き取り作業（旭川外来植物研究会）
 - ・ 7月20日 ホタル観察
 - ・ 8月 7日 暴風警報発令により一時閉鎖 突哨山公共駐車場看板倒壊
 - ・ 8月6、28、31日 遊歩道番号看板補修（もりねっと）
 - ・ 8月7、28、31日、9月9日 危険木処理（もりねっと）
 - ・ 8月18、19、26、27日 旭川大学高校 環境学習 参加者199名
（旭川大学高校・もりねっと）
 - ・ 8月31日 近文第二小学校1、2年生突哨山活動（もりねっと）
 - ・ 9月 3日 近文第二小学校5、6年生突哨山活動（もりねっと）
 - ・ 9月 7日 近文第二小学校3、4年生突哨山活動（もりねっと）
 - ・ 9月10日 道道鷹栖東鷹栖比布線ワークショップ（比布町）
 - ・ 10月4日 森薪塾[もりまきじゅく]突哨山見学 参加者11名（もりねっと）
 - ・ 10月8日 村上山公園「E」看板設置、ぴぴの路「F」看板補修
 - ・ 10月14日 カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会）
 - ・ 10月18日 突哨山ボランティア遊歩道整備（もりねっと）
 - ・ 10月21日 現地検討会
 - ・ 10月24日 比布町秋の突哨山ツアー参加者17名（比布町教育委員会）
 - ・ 10月30日 突哨山公共駐車場看板設置
 - ・ 11月 1日 芋煮会 参加者50名（突哨山と身近な自然を考える会）
 - ・ 11月 1日 突哨山公共駐車場トイレ撤去
 - ・ 11月24日～12月2日 人工林間伐（もりねっと）
 - ・ 12月 6日 間伐体験～クリスマスツリーのおすそわけ～（もりねっと）
- 2021年
- ・ 1月27日 近二小1、2年生 突哨山活動（近文第二小学校）
 - ・ 2月16日～18日 暴風警報発令のため閉鎖

- ・ 2月18日 カタクリ広場ハウス倒壊発見
- ・ 2月25日 近二小5、6年生 突哨山活動まとめ発表（近文第二小学校）
- ・ 3月3日 大雪警報発令後の巡回（閉鎖せず）
- ・ 3月9日 比布町2021年度突哨山活動打ち合わせ（比布町教育委員会）

（3）比布町の取り組み ―澤田氏提供―

- ・ 2月19日 ガイドマップ(第11版)の編集会議の結果を受け、役場総務企画課
（昨田・小菅生・千葉）と協議の結果、ガイドマップの地図に北4線4号
（井上工業）から村上山公園までの道を点線で記入することになった（4
号道路は実線で加筆）
- ・ 2月27日 北3線4号入口から村上山公園までの除雪済みを確認（ただし、入口は
雪を盛り上げ閉鎖）
- ・ 3月11日 2020年度活動計画についての話し合い
出席者 もりねっと中村、桐・澤田
役場関係 総務企画課まちづくり推進室―千葉
産業振興課林務課―篠原
教育委員会社会教育係―齋藤
 - ◀その後、役場職員は4月の人事異動で担当者が変更▶
 - 【4月の「雪山（樹液）ツアー」は、コロナで中止するが、
残りの行事は実施することで決定した】
- ・ 3月24日 情報ボックスの冬囲いをはずす（澤田）
- ・ 4月03日 村上山公園口の車止めの木杭を修理
- ・ 4月07日 教委山本補佐から、「突哨山春の散策ツアー」を5月2日（土）に実施
すると連絡
- ・ 4月17日 びびの路整備作業の下見・作業内容の確認 9時～
役場総務企画課まちづくり推進室―齋藤・工藤、桐、澤田の4名
- ・ 4月17日 午後から、国道40号線脇に突哨山への案内看板（2）を設置
（桐・澤田）
- ・ 4月17日 教委山本補佐から、コロナで「春の散策ツアー」（5月2日予定）を中
止するとの連絡・無線放送を流す
- ・ 4月21日 エゾエンゴサク群生地整備（桐）
- ・ 4月24日 役場建設課大谷補佐の案内で、国道40号線比布トンネル工事の際のカ
タクリ移植の現状を視察。13時半～
エゾエンゴサク群生地の案内看板の設置とタヌキの死骸（2）を小屋の
後ろに埋める

- ・ 4月25日 「びびの路整備作業」＝コロナで中止したが、
午前、もりねっと（中村・富岡）、桐・ 木村・村瀬・武井・澤田で整備作業をする。午後、枯れ草の刈り取り・看板の付け替えなどをする
（桐・澤田）（盗掘されたハナガサイチゲの跡に1本だけ確認＝桐）
- ・ 4月26日 比布町太田山付近で熊出没情報
びびの路、一時封鎖するが、27日もりねっと中村が巡視し午後解除する。
- ・ 4月27日 比布町産業振興課で、高速道路跨道橋南側に檻とクマ監視用カメラ、
びびの路に監視用カメラ（2台）を設置
- ・ 5月01日 高齢者事業団が桜の村上公園を整備作業。下草（ササ）刈りと柳などの
伐採。（高齢者事業団）
- ・ 5月01日 役場産業振興課篠原・高橋と澤田でクマ用カメラの点検（異常なし）
これ以降、週一でカメラの点検を行う
- ・ 5月02日 「春の突哨山ツアー」、コロナの感染予防のため中止
（5月4日の「カタクリフォーラム」は規模を縮小して実施した）
- ・ 5月11日 エゾエンゴサク群生地の案内看板を撤去
- ・ 5月18日 びびの路の崖に生えているニセアカシヤのテスト駆除に除草剤を使用
（桐）4日間、実施。
- ・ 5月20日 少し効果がありそうだ（桐）
- ・ 5月22日 ニセアカシヤの状況を調査・確認。枯れたものもあるが、また新しい芽
を出しているものもある。（桐・澤田）
- ・ 5月23日 国道40号線脇の案内看板（2）を撤去。（桐）
- ・ 5月29日 ニセアカシヤとヤナギの除草剤をかける。村上山公園口の車止めの木杭
を埋め直す。（桐・澤田）
- ・ 5月30日～06月18日12時まで 熊出没で突哨山閉鎖
扇の沢Aのカメラにヒグマの映像（5月30日午後1時1分）。近くの
歩道上に足跡も。高速道路跨道橋南側カメラ(比布町設置)にヒグマの映
像(29日午前11時22分)。6月6日に、扇の沢の2カ所でザゼンソ
ウの食痕を確認。6月7日午前7時ころ びびの路の入り口の丸太が移動
されているのを発見(桐)。再度、桐・澤田の二人で確認→産業振興課
丸谷課長に電話連絡→篠原・桐・澤田で カメラ(3カ所)を確認（画像無
し）→もりねっと中村に状況報告。6月17日に、旭川公園みどり課と
もりねっとで確認調査の結果、カメラ映像・食痕なし→18日に全面解
除するを決定。
- ・ 6月08日と09日 びびの路の散策路の草刈り整備（桐・澤田）

- ・ 6月18日 突哨山の入山禁止を全面解除
- ・ 6月24日 カメラの点検後（異常なし）びびの路の散策路の草刈り整備(桐・澤田)
- ・ 6月27日 びびの路の草刈り整備
- ・ 7月04日と6日と9日と11日 エゾエンゴサク群生地のおオアワダチソウの抜き取りと刈り取り。
- ・ 7月14日 びびの路のおオハンゴンソウの抜き取り
- ・ 7月19日 突哨山運営協議会主催 第2回特定外来生物の抜き取り作業
（11名参加）びびの路＝もりねっと中村、運営協議会（工藤・澤田）
一般ボランティア(杉戸)の4名。おオアワダチソウの抜き取りをする。
来年も実施することを決定
- ・ 7月22日と23日 びびの路のブタナの刈り取りとおオアワダチソウの抜き取り。
- ・ 7月27日、28日、8月1日、8日、25日、26日（午前）、9月2日
びびの路のおオアワダチソウとおオハンゴンソウの抜き取り
- ・ 7月27日 第1回突哨山運営協議会 新委員 比布町西町 武井七海
比布町の委員が4名になる
- ・ 7月28日 跨道橋南側カメラにクマの画像(7月26日午後4時ころ)。他はナシ。
- ・ 8月04日 びびの路の散策路の草刈り(桐)
- ・ 8月07日 台風4号くずれの低気圧接近で、突哨山全面閉鎖
朝、村上山公園口の封鎖（齋藤大登）～17時の解除（もりねっと山本）
- ・ 8月08日と26日（午後） おオアワダチソウの刈り取り
- ・ 8月10日 びびの路入り口の崖に生えているニセアカシヤとヤナギなどの木の切り
たおし(桐・澤田)
- ・ 9月02日 村上山公園の東屋跡のベンチ・テーブルの塗装(業者)
- ・ 9月10日 道道鷹栖比布線改良工事を想定した第4回ワークショップ（役場第2会
議室）
- ・ 9月21日、22日、23日 北分岐の展望をよくするために雑木の切り倒し作業
- ・ 9月28日 村上山公園駐車場に投棄された大量のゴミを収集（役場篠原・澤田）
びびの路の草刈り
- ・ 9月30日 びびの路Fの林内の下草刈りとニセアカシヤの切り倒し
- ・ 10月2日 ニセアカシヤの木の切り倒し（桐・澤田）→太く本数も多いので手鋸だ
けでは困難
- ・ 10月6日 村上山公園Eとびびの路Fの看板設置の場所を確認（もりねっと富岡・
役場篠原・澤田）⇒07日（水）に設置作業（もりねっと富岡）村上山
公園駐車場に大量の廃棄物投棄（後日、役場篠原処理）＝今年、2度目
- ・ 10月12日 びびの路の散策路の草刈り（桐）

- ・ 10月14日 もりねっと北海道中村、びびの路 F 地点のニセアカシヤの木の伐採本数などを調査（桐・澤田も同行）⇒見積もりを役場総務企画課齋藤に提出⇒今年度は実施出来ず
 - ・ 10月24日 比布町公民館主催「秋の突哨山ツアー」
参加者 子ども6名、大人10名、他スタッフ（含むガイド）9名
「『びびの路』で小さい秋を見つけよう！」のビンゴゲームをしながら北分岐まで散策。F まで戻って、ジャガイモ・サツマイモ・リンゴなどの他に拾ってきたクリも焼いて食べ、クマイザサの「笹茶」も飲んで楽しんだ。
 - ・ 11月2日 村上山公園口の情報ボックスの冬囲い（桐）
ヒグマの監視カメラ（3台）を点検後、収納する（篠原・澤田）
 - ・ 11月4日 初雪が降る
- 2021年
- ・ 3月 9日 2021 年の活動計画についての会合
出席者 突哨山運営協議会（桐・木村・澤田）、もりねっと北海道（中村）、旭川教委（向井）、比布役場総務企画課まちづくり推進室（齋藤）、産業振興課（高橋）、教委（山本、加地）
ゆきやま探検ツアー＝4月18日（日）、びびの路整備作業＝4月24日（土）
春の突哨山散策ツアー＝カタクリフォーラムに合わせて実施（5月2日）
特定外来生物（植物）などの抜き取り作業＝今年度から取り組むことを決定
（具体化するまでには色々と検討することが出てくる）
 - ・ 3月22日 村上山公園まで除雪済みを確認（但し、入り口を封鎖）
 - ・ 3月25日 入口の封鎖した雪山を除雪し公園まで開通(情報ボックスが雪の下に)
 - ・ 3月26日 情報ボックスを雪の中から掘り起こす(桐)(支柱が腐敗して倒壊?)

（4）2020年度に実施された研究調査

- ・ 微小昆虫調査（アブラムシ類、アザミウマ類） 2020年5月～
（地方独立行政法人北海道立総合研究機構上川農業試験場）
佐々木 大介 氏（個人）
- ・ オサムシの地理的分布調査 2020年7月～8月
東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系
奥崎 譲 氏

※以下の調査については中止となりました。

・コウモリ類の生態調査 2020年7月～10月
オサラッペ・コウモリ研究所
出羽 寛 氏

・コウモリ類の餌資源量調査（昆虫類全般） 2020年7月～8月
東京大学北海道演習林
福井 大 氏 他

（5）研究調査結果の還元

・微小昆虫調査（アブラムシ類、アザミウマ類） 2020年5月～
（地方独立行政法人北海道立総合研究機構上川農業試験場）
佐々木 大介 氏（個人）

添付資料1

出羽 昨年の調査結果が資料1として添付されています。これは全部で17ページあるんですが、今回突哨山で見つかったアブラムシが90種類リストが並んでいます。資料にはその一部だけ掲載されています。同じようにアザミウマ類も今後さらに調査が進むと思います。学会にも色々と報告をなされていて、こういった微小昆虫の調査は今まであまりされていなかったのが貴重な調査だと思います。それから付け加えて言いますと、今回コウモリ類の調査は突哨山で行いませんでした。東大の福井大さんと私も関わっていますが、これは中止ではなく、ヤマコウモリにGPSを付けて飛翔経路を特定するという調査だったんですが、その餌資源の調査で突哨山を当初対象にしていたんですが、他の場所で間に合ったので突哨山では行わなかったということです。この調査自体は実施しました。以上です。

（6）外部団体による外来生物対策

・春先のセイヨウオオマルハナバチのモニタリングと防除活動
（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）

中村 寺島さんからお話をお伺いしましたが、これまで10年活動されてきて2020年度が調査の最終年ということで、これからデータをまとめられるというお話でした。まとめられたデータは協議会へ共有していただこうと思っています。

・アライグマ駆除

(旭川市生物多様性保全推進協議会・旭川市環境部)

2020年度(令和2年度)のアライグマ捕獲頭数は東鷹栖地区で28頭、東山地区で7頭、合計35頭だった。2019年度(令和元年度)は東鷹栖地区のみで34頭の捕獲だったが、前年比減となった大きな要因は特にはないとのこと。(旭川市環境部提供)

中村 前年比減となった要因を環境部の担当者に聞きました。大きな要因はないということでしたが、農家さんの高齢化による意欲の低下で、捕獲して欲しいという依頼自体が少なかったのではないかとのことでした。

令和2年度 捕獲状況等報告書(アライグマ:農地)

捕獲数:23頭

月日	曜日	雌雄	体重	場所	現況	備考
5月19日	火	雄	6.2	東鷹栖10線15号	農地	
6月26日	金	雄	7.5	東鷹栖5線21号	農地	
7月10日	金	雄	5.5	東鷹栖5線21号	農地	
7月10日	金	雄	5.7	東鷹栖5線21号	農地	
7月14日	火	雌	2.1	東鷹栖1線15号	農地	
7月20日	月	雌	1.8	東鷹栖1線15号	農地	
8月11日	火	雄	2.7	東鷹栖東山	農地	
8月17日	月	雄	6.0	東鷹栖13線20号	農地	
8月17日	月	雄	2.5	東鷹栖5線11号	農地	
8月17日	月	雄	3.0	東鷹栖東山	農地	
8月25日	火	雄	5.5	東鷹栖東山	農地	
8月25日	火	雄	5.5	東鷹栖5線21号	農地	
8月25日	火	雄	2.2	東鷹栖5線21号	農地	
8月26日	水	雄	5.6	東鷹栖東山	農地	
8月27日	木	雄	1.5	東鷹栖13線20号	農地	
8月27日	木	雄	1.5	東鷹栖13線20号	農地	
8月31日	月	雄	3.3	東鷹栖5線11号	農地	
9月16日	水	雄	5.1	東鷹栖5線11号	農地	
9月23日	水	雄	7.0	東鷹栖13線20号	農地	
9月23日	水	雄	5.0	東鷹栖5線11号	農地	

10月19日	月	雄	5.0	東鷹栖東山	農地	
10月26日	月	雄	7.0	東鷹栖東山	農地	
11月20日	金	雄	6.5	東鷹栖5線11号	農地	
				東鷹栖	17	
				東山	6	

令和2年度 捕獲状況等報告書 (アライグマ:非農地)

捕獲数:12頭

月日	曜日	雌雄	体重	場所	現況	備考
4月6日	月	雌	6.0	東鷹栖12線19号	建屋(無人)	
5月12日	火	雌	5.0	東鷹栖10線23号	菜園(果樹以外)	
6月16日	火	雄	6.7	東鷹栖13線23号	菜園(果樹以外)	
6月29日	月	雄	4.5	東鷹栖10線23号	菜園(果樹以外)	
8月3日	月	雄	6.2	東鷹栖2線18号	建屋(有人)	
9月15日	火	雄	7.7	東鷹栖13線21号	菜園(果樹)	
10月8日	木	雄	5.2	東鷹栖13線23号	菜園(果樹以外)	
10月19日	月	雌	5.5	東鷹栖10線23号	菜園(果樹)	
10月19日	月	雄	4.7	東鷹栖13線23号	菜園(果樹以外)	
10月26日	月	雄	4.5	東鷹栖東山	菜園(果樹以外)	
10月27日	火	雄	3.7	東鷹栖13線21号	菜園(果樹)	
10月27日	火	雄	3.5	東鷹栖10線23号	菜園(果樹)	

東鷹栖 11
東山 1

(7) 自然生態系の調査

・カタクリ開花調査

2020年3月10日～2020年5月8日(11回)。

カタクリの開花情報について指定管理者のホームページで情報提供を行った。「突哨山カタクリ速報」ブログ。

・植生調査

ササカタクリ調査 2020年5月14日

(8) 指定管理者による通常管理業務

・巡回と危険木、支障木処理

トレイルカメラの点検、ヒグマ痕跡調査

(旭川市、比布町、もりねっと 3者の協力で実施)

- ・草刈り：突哨山駐車場、遊歩道（6月）。

カタクリ広場：突哨山と身近な自然を考える会（6月、10月）

- ・トイレ：①突哨山駐車場：NPO 法人ハートフル21（東鷹栖）へ委託。

②カタクリ広場：突哨山と身近な自然を考える会の清掃、点検。

(9) 情報発信、普及活動

協議会への市民からの意見、要望等の受け入れと協議会からの情報発信

- ・突哨山ガイドマップの編集作業、配布

第11版5000部をガイドマップ検討会にて編集、指定管理者が発行し、
現地の情報ボックスをはじめ、各施設や店舗に配布した。

主な配布先 観光協会まちなか情報センター、こども富貴堂、突哨山と身近な自然を考える会会員、旭川観光物産情報センター（旭川駅内）、嵐山ビクターセンター、

嵐山北邦野草園

- ・協議会ニュース

指定管理者のホームページ内で発信。カタクリ速報、イベント告知、協議会議事録の掲載。

- ・「みどりの回廊展」（あさひかわ自然共生ネットワーク主催）中止

- ・ブログ発信

もりねっとのホームページで、突哨山の近況・活動報告を随時発信。

- ・入山記帳ノートによる意見や要望の聞き取りと、協議会への報告。

添付資料2

中村 みどりの回廊展は今年はやるんですか。

出羽 まだはっきり決まっています。

山本 イベントとしては中止の方向ですね。

出羽 中止の意見が多いですが最終的には決まっています。

中村 入山記帳ノートの内容は資料としてお配りしてあります。ぴぴの路入り口の記帳ノートに関しては澤田さんにまとめていただいたものです。内容としては楽しかった、きれいだったというものがほとんどで、こうして欲しいなどの要望はありませんでした。ブログなどで記帳ノートの内容を紹介することにしましたが、どういう形で発信しようか迷っていてまだで

きていません。近々発信していきたいと考えています。

(10) ヒグマ対策（指定管理事業）

添付資料3

山本 5月19日に比布の跨道橋で小型のクマがカメラに写っていました。この場所はびびの路から1キロ半ぐらい、カタクリ広場から3キロぐらい離れているので、これが必ず突哨山に入るとは言い切れないし、過去にも入ってきていないこともあるんですが、とりあえず今は警戒体制を取っています。かなり小型のクマで母グマと一緒にいてもおかしくないぐらいの大きさですが、動きを見るとは母グマと一緒にとは考え辛いです。現在もりねつとで6台、比布町で3台、跨道橋と突哨山内にカメラを設置しています。比布町のカメラも5月19日の同じ時間に同じクマを撮影していました。ただ、突哨山の中に設置しているカメラにはクマの姿はありませんでした。絶対とは言えませんが、今の所突哨山の中には入ってきていないだろうと考えています。とりあえずそういう時は閉鎖はしませんが、ヒグマ注意という表示をしています。通常、突哨山の中で確認されると遊歩道は閉鎖して調査をするんですが、現在は閉鎖をせずに入りにヒグマ注意という看板を設置して、注意してお入りくださいという表示をしています。

出羽 これはどうやって知らせているんですか。看板か何かですか。

山本 各入り口にプレートを設置しています。比布側は熊出没注意の大きい看板が設置してあります。クマの現状については以上です。資料3枚目に設置したカメラで撮影された写真を載せています。カメラにはキツネやシカやタヌキ、アライグマも写ります。犬の姿もたまに映ります。年間にせいぜい3、4件あるかどうかですが、犬を連れて入られる方がいます。手前に人影が写っているので勝手に入ったのではないと思いますが、リードがついているかどうかはよく分かりません。入ったとしてもリードを付けている方が多いです。それからトレイルランの方ですが、こちらは月に1人2人あります。犬に関しては自粛をお願いしています。トレイルランに関しては今のところ規制はありません。クマとの出くわしからいうと確率が上がってしまいます。トレランの協会の方に話を聞いたら、クマに関してはかなり気をつけているとのことでした。イベントなどの時には事前に調査をして、人員を配置するなどしサーっと走り抜けます。今日付けた各入り口の表示にはペット連れやランニングはお控えくださいと表示しています。日常のランニングに関しては今後皆さんでご検討していただければと思っています。一番最後についているチラシは各入り口に配布用に置いて

あるものです。

寺島 比布町の活動報告について澤田さんの方から何かありますか。

澤田 たくさん書いてありますが、自分中心に書いたもので、これ以外にも桐さんが入って作業をしているのでかなり抜けていると思います。相当の回数山に入って、びびの路を中心に整備活動をしているということをご理解ください。毎年2月か3月に1年間の活動について話し合いをしています。過去には一つにイベントごとに集まっていたんですが、役場の丸谷さんという方が教育委員会から総務企画課に移った時に関係する人たちを集めたんです。教育委員会、それから比布の協議会メンバー。そこから年間計画を立てるという形が作られてきました。今はそれに産業振興課が加わって4者でやっています。それからかなり効率的になりました。今年の3月9日に今年度の計画を立てました。その時には旭川のエデュケーション委員会の向井さんにも参加していただきました。その時に特定外来植物の抜き取りをびびの路でも取り組もうということが決まりました。決まったことは決まったんですが、どこが主体になってどうするかはまだ決まっています。その辺をどうしていくかは今後の課題です。5年ぐらい前から町に提案していますが、ようやく形になりそうです。それから比布町はいちごの生産で100周年になるそうです。町長のフェイスブックに100周年の記念誌を作ると書かれていたので私がそこにコメントを入れました。びびの路にイチゴを作っていたという痕跡がありますと。そしたらすぐに産業振興課の丸谷課長から電話が来まして、町長がぜひそれを見たいというので案内してほしいということでした。桐さん、木村さん、私、中村さん、そして町長と産業振興課から2人が集まって案内をしました。町史の中に突哨山でイチゴを作っていたという記録が残っていないんです。それを入れたいということでした。一つは小屋。それからいちご畑のウネ。そして一升瓶の山。これはイチゴを作っている人たちが集まって花見をした跡なんですね。それも今の一升瓶ではなく昔の透明な一升瓶です。何年から何年ぐらいまでイチゴを作っていたかははっきり分かりません。桐さんが今聞き取り調査をしています。

出羽 向井さんというのは博物館の向井さんですか。

澤田 そうですね。

山本 私も今日、ちょうどイチゴ畑の跡を見てきたんですが、あそこにももしイチゴが残っていたらクマが取りに来る可能性があるんですが、その形跡はありますか。イチゴの本体はありますか。

澤田 ないです。舗装された道路のそばにそれらしき形跡は少しだけあります

が、あとはありません。

寺島 質疑はこの後時間を取ります。他になければ2020年度の決算、監査報告をお願いします。

2、2020年度の決算報告、監査報告

2020年度 突哨山運営協議会 決算報告

収 入

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	49,781	49,781	
運営募金	14,000	12,000	運営募金 1,000 円×12 名
企画収入			
雑収入			
合 計	63,781	61,781	△2,000 円

支 出

科 目	予算額	決算額	備 考
企画費	60,000	0	活動記録誌未作成
印 刷 費			
通 信 費			
消耗品費			
雑 費			
予 備 費	3,781	0	
次年度繰越金		61,781	
合 計	63,781	61,781	

監査報告書

2020年度の突哨山運営協議会決算について経理簿、通帳、支出関係書類の監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

2021年 5 月 18 日 監査

澤 田 勇 

2021年 5 月 19 日 監査

工藤 稔 

澤田 5月18日私、5月19日工藤さんが監査を行いました。2020年度突哨山運営協議会決算について経理簿、通帳、支出関係書類の監査を行なった結果、適正に処理されていることを認めます。以上です。その時に会計を担当している中村さんと話したんですが、運営募金12名ということで、これは総会の時に来た人が募金をしているわけです。他に総会に来なかった人は募金をしない。中にはそんなのあったのかという人もいるんじゃないかな、という感想を伝えました。以上です。

寺島 それでは活動報告と決算、監査報告が終わりましたので、まずは活動報告について何か質問のある方いらっしゃいますか。

出羽 さっきのイチゴ畑についてですが、私も昔から知っていますが、町史に反映するというのは具体的にどんなことを考えていますか。町史は簡単に変更することはできないと思うんですが。

澤田 町史ではなく記念誌に反映させるということです。記念誌なんですけど大体町史を参考にすると思います。村上山公園の石を取った場所、あそこが広いイチゴ畑だったんですね。それが記録として残っていないんですね。だから町でも知らなかった。それが後々町史に反映するかどうかは分かりません。今の段階は記念誌です。

出羽 分かりました。

寺島 他にありませんか。それでは決算、監査について何かご質問はありますか。それでは無いようなので、活動報告と決算、監査報告について承認ということで拍手をお願いいたします。

全員 拍手

寺島 続いて2021年度の活動計画案をお願いします。

3、2021年度の活動計画案

(1) 活動予定

- ・4月29日～5月5日 花案内人ボランティアガイド
- ・5月 2日 カタクリフォーラム（かたくり楽団・突哨山と身近な自然を考える会）
- ・5月18日 ササカタクリ調査
- ・5～10月 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・5～3月 近文第二小学校総合学習（もりねっと協力）
- ・6月 倒木の搬出と配布（ボランティア募集）
- ・6月、10月 突哨山駐車場、カタクリ広場、遊歩道 草刈り
- ・7月 外来種抜き取り作業（ボランティア募集）
- ・7～8月、コウモリ観察会（オサラッペ・コウモリ研究所）
- ・8月 みどりの回廊展（もりねっと、突哨山と身近な自然を考える会）
- ・9月 現地検討会
- ・10月 遊歩道整備（ボランティア募集）
- ・11月 芋煮会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・12月 間伐体験（もりねっと等）
- ・12月～ 人工林間伐
- ・12月～ 比布町人工林危険木処理

中村 花案内人活動のまとめ、ササカタクリ調査についてはは次回の協議会で報告させていただきます。カタクリフォーラムは50名ぐらい参加者がいたそうですが、コロナの関係で今年は散策のみ行なったそうです。

尾崎 外来種の抜き取り作業は7月18日でお願いしたいです。

中村 了解しました。7月18日で調整します。

出羽 コウモリ観察会はクマとの関係もあるのでまだ決めていません。

寺島 みどりの回廊展は中止になりました。

中村 全く何もしないということですか。

寺島 観察会などはやった方がいいんじゃないかという提案もありましたが、しないということに決まりました。

出羽 野外の観察会などはやってもいいんじゃないかという意見もありましたが、それについては未定です。科学館でやる展示は中止です。

(2) 情報発信、普及活動

- ・突哨山ガイドマップの配布 第12版4000部作成。

主な配布先 情報ボックス 1000

旭川市観光協会（まちなか情報センター） 600

旭川観光物産情報センター（旭川駅内） 600

比布町役場 500

突哨山と身近な自然を考える会会員 300

嵐山ビジターセンター

嵐山公園センター

- ・協議会ニュース もりねっとホームページ内

- ・「みどりの回廊展」への参加

- ・もりねっとホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報発信

突哨山の現況・活動報告を随時発信。2021年5月現在のもりねっとフェイスブックのフォロワーは343人です。

中村 今年はコロナの影響を考えて印刷を4000部にしましたが、情報ボックスのガイドマップが早いペースでなくなっています。今の時点で6、700部は既になくなりました。

2020年度の旭川市による指定管理業務の現地調査において、突哨山の情報発信、普及活動にもう少し努めてほしいとの要望がありました。突哨山の情報発信の間口を広げるためにInstagramによる情報発信を提案いたします。

情報発信の内容としては、突哨山内の自然、作業やイベント風景の写真です。希少種は掲載しません。これまでのブログやフェイスブックと同じような内容になりますが、Instagramの特徴は写真に一言添えるような形になります。

Instagramとは

写真、動画に特化したSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で、日本国内における月間ユーザー数は2019年末時点で3000万人を超える。個人利用をはじめ、著名人や各種団体、行政による公式な情報発信の媒体としても利用されている。「インスタ映え」という言葉が2017年の流行語大賞となった。

(3) 森林の取り扱い基本方針に伴う実施計画

- ・天然林 A～C：原則、自然の推移を見守る。

- ・人工林 D : 合計 16.28 ha の 2 周目。林況に応じた間伐作業。
間伐体験イベントの実施。(12月)
「6 番」トドマツ人工林 森林再生観察路の整備継続。
- ・草地 E : 原則、自然の推移を見守る。
- ・遊歩道沿いの危険木は状況に応じて処理するが、森林内部の枯損木、枯死木は、動物利用のため放置する。
- ・植生調査：ササカタクリ調査(2021年5月18日実施済み)
林床植生調査は2022年実施予定。(3年毎)
樹木調査は2024年実施予定。(5年毎)

(4) 研究調査

- ・微小昆虫調査(アブラムシ類、アザミウマ類) 2021年5月～
(地方独立行政法人北海道立総合研究機構上川農業試験場)
佐々木 大介 氏(個人)
- ・ネズミ科哺乳類の寄生虫調査(エキノコックス) 2021年4月～
旭川医科大学医学部寄生虫学講座
佐々木 瑞希 氏 中尾 稔 氏
- ・東鷹栖地域における昆虫類(甲虫)調査 2021年5月～
北海道昆虫同好会
松本 英明 氏

添付資料 4

中村 今年度の佐々木氏による微小昆虫調査について、本来であれば協議会役員の方々の意見を集約して、市へ提供して、市がそれに基づいて許可を出すという流れになってるんですが、昨年と同じ内容ということもあって、佐々木氏から許可申請があった段階で、協議会役員を通さずに市へ許可を出してもらうよう依頼してしまいました。今後こういうことが無いように気をつけていきたいと思います。

出羽 内容に問題はないんですが、一応役員に確認した上で、ということにした方がいいと思います。

寺島 研究調査について出羽さんの方から何かありますか。

出羽 佐々木さんの微小昆虫の調査は見つけ取りで植物を炒めるようなことではないので問題ないと思います。松本さんの甲虫調査は最初、調査場所や調査内容があまりはっきりしなかったんですね。それでいくつか質問をしました。採集は甲虫類に限定して、比布側は調査範囲ではないということでした。彼は昔から相当調査を行ってまして、東鷹栖

の甲虫のリストを作りたいということでした。突哨山を考えると比布側もやった方がいいんじゃないかと思ったんですが、それはやらないということです。調査方法も夜間採集と、受け皿を作って叩き落とすという方法です。標本も1種類につき3個体と少ないので大丈夫だと思います。医大の中尾さんと佐々木さんの調査ですが、前にもお話ししましたが春光台のネズミからエキノコックスが過去にけっこう出てるんですね。突哨山、春光台、嵐山、その辺の狐とネズミの関係をDNAも含めて明らかにするという貴重な調査だと思います。

寺島 甲虫調査について個体数も問題ないですか。

出羽 一種類につき3個体程度なので問題ないと思います。

寺島 それでは次をお願いします。

4、2021年度の予算案

2021年度 突哨山運営協議会 予算案

収 入

科 目	2020 年度予算	2021 年度予算	備考
繰越金	49,781	61,781	
運営募金	14,000	14,000	
企画収入			
雑収入			
合 計	63,781	75,781	

支 出

科 目	2020 年度予算	2021 年度予算	備考
企画費	60,000	75,000	記念誌作成他
印 刷 費			
通 信 費			
消耗品費			
雑 費			
予 備 費	3,781	781	
合 計	63,781	75,781	

＊通信費は指定管理者が負担します。

寺島 次は規約についてですが、これは意見交換が必要だと思いますので、先に7番目の地域運動史についてお願いできますか。

5、規約について

前回の総会（2020年度第13回総会）において、委員の募集を隔年から毎年へ変更することを承認いただきました。これに伴い、規約の改正が必要になります。変更点は以下の通りです。

・第4条（委員）第2項

（改正前）市民委員は隔年に若干名を公募する。

（改正後）市民委員は毎年若干名を公募する。

添付資料5

中村 これと合わせて、第6項に「任期は2年とし、再任を妨げない」とありますが、委員を毎年募集することになると任期の管理が難しくなるので任期は1年としてはいかがでしょうか。

尾崎 一番最初に運営協議会のメンバーになるときに最初の一年はオブザーバーとして参加しました。最近新しくメンバーになった方は出席されない人が多いです。その辺も合わせてどうしたらいいのか。以前、来ない人については本人に退会するのか続けるのか確認してました。そういうことも考慮した方がいいと思います。事務局としてはどうお考えでしょうか。

中村 次の項目に出てきますが、長期欠席者への対応についてもご検討いただきたいと思います。

出羽 任期を2年とした場合人によってバラバラになります。そうすると非常に煩わしいことになるので任期は1年にする。新しく委員になられた方で実際にほとんど参加していない方もいらっしゃいます、それについては何らかの対策をしなければいけないということですね。今回もお一人応募された方がいらっしゃいますが、その方に確認したのはこの会議に出られるかどうか。それから突哨山でやるイベントに参加できるかどうか。毎回は無理にしても、可能な時には参加できるかどうか。それは確認しています。

以前、他の地域に引っ越されて来られなくなったという方もいらっしゃいました。会議やイベントに参加できない方への対応は何らかの形を作っておく必要があると思います。例えば2年間一度も参加しない場合はとか。いかがでしょうか。

寺島 それともう一つ。オブザーバーについてですが、オブザーバーというのは新しく委員になる方の試用期間ではないです。会議に必要な運営委員以外の方に出席していただく時にオブザーバーとして参加していただくという規約になっています。

任期を1年にしてはどうかということですが、それによって生じる問題やメリットなど何かご意見ありますでしょうか。

出羽 応募は毎年にするということと委員の任期を1年にするという。役員の任期は2年でいいんですね。それと出席されない方への対応をどうするかですね。

山本 委員任期が1年だと役員の任期も1年にするべきではないでしょうか。

寺島 では委員と役員の任期を両方1年とするということでもいいですか。いかがでしょうか。

出羽 出席されない方への対応はどうしましょうか。

寺島 今までは任期が来ると継続の意思確認はしているんですね。

中村 今まではしていません。総会のご案内に継続の意思確認の欄を設けることは可能です。継続の意思確認をすることで長期欠席者への対応ということによろしいでしょうか。

寺島 みなさんいかがでしょうか。

全員 賛成

中村 意思確認の手紙が返ってこない場合はどうしたらいいでしょうか。現状、総会の委任状も返信がない方もいらっしゃいます。

寺島 あまり細かいことまで決めない方がいいかもしれません。規約では大筋を決めておいてあとは運用の仕方判断してはいかがでしょう。

中村 了解しました。

6、委員の募集と役員の改選について

・委員の募集

運営委員への応募は1名ありました。

ご検討お願いいたします。

添付資料 6

- ・役員の改選について

本年度は役員の改選はありません。

添付資料 7

- ・長期欠席者への対応について

総会や定例協議会、その他協議会主催のイベント等に長期間参加されていない運営委員の方への対応についてご検討ください。

規約では以下の通りとなっています。

第3条（委員）第3項 委員の資格は、突哨山の運営・活動に関心があり、参加できる人。

出羽 今回運営委員の応募が1名ありました。先ほど役員会で選考を行い問題ないということでした。総会での承認をお願いいたします。

寺島 ということですがいかがでしょうか。

全員 賛成

7、 突哨山の地域運動史について

2017年度から進めてきました「突哨山の地域運動史」の編集作業について添付資料をご覧ください。

添付資料 8

出羽

8、 遊歩道入り口の案内看板更新について

前回の定例協議会（2020年度第4回協議会）にてお伝えしたように、今年度中に突哨山駐車場とカタクリ広場に設置してある遊歩道の入り口を示す看板の作り替えを予定しています。これに伴い、突哨山エリア、または公園、または遊歩道の名称について検討をお願いいたします。

突哨山口（駐車場）

カタクリ広場



出羽 これまで何度かこれについて話し合ってきましたが、今回は目的が遊歩道入り口の看板についてですので、看板の表示をどうするかということに限って検討していただきたいと思います。これは2箇所ですね。

中村 2箇所です。突哨山口とカタクリ広場口です。

9、比布町の道道工事について

これまで比布町の現町道の道道昇格および改良工事について、現地調査や情報交換を複数回に渡りおこなってまいりましたが、現時点で5項目に整理され、一定の方向性が確認されています。この内容について比布町より、突哨山運営協議会、比布町、道路管理者の三者で覚書を取り交わしたいと要望がありました。道路管理者は現時点で比布町ですが、道道昇格後は北海道となります。覚書の内容はこれまで話し合われてきたもののまとめになっています。内容をご確認いただき、ご検討をお願いします。

添付資料 9

出羽 計画区域が突哨山の端に当たり、バッファゾーンという性格もありますので、これまで何度も比布町と話し合いを持ち、現地を歩いたりしてきました。簡単に言いますと、カタクリは移植する、法面は無種子吹き付けをする、カタクリを移植した場所の外来植物の侵入を防ぐことはしますが、それ以外のところまではできないということです。それから横断水路は四角形のものにする、側溝に関しては斜路トラフをつける。それからロードキルの問題があります。抜本的な対策は難しいんですが、事故が多いようであれば注意標識などで対応する。最後にノスリの営巣というのがあります。現在の町道から40mぐらい離れたところでノスリが営巣している場所があります。先日中村さんと一緒に行ってきましたがノスリがピーピー鳴いて警戒していました。今年も営巣する可能性がります。覚書の中に「付近の工事」という言葉が出てきます。この付近の工事というのが問題

になります。猛禽類は相当視力が良いです。藤巻さんという、長年ずっと鳥の研究をしていて旭川周辺も相当調査に入っている方がいます。その方にいろいろ聞いたんですが、猛禽類というのは場合によっては2、300m離れていても人の姿が見えたりすると巣を放棄してしまったりすることがある。ただし個体差があるということです。付近の工事は営巣の時期を外し巣立ち後に施行すること、とありますが、これは非常に曖昧なんですね。500mぐらい離れたら良いだろうということになかなないんです。この辺はもう少し詰めて検討した上で覚書を交わしたいと思っています。

寺島 それではこれまでのところで意見がある方いらっしゃいますか。

工藤（稔） 地域運動史のことですが、資料8-1の出版費用は両者で出すが、大半は突哨山運営協議会の予算から出す、となっておりますがこれは間違いないですか。

出羽 これは突哨山と身近な自然を考える会の間違いです。失礼しました。どのぐらい費用がかかるかまだ分かりませんが、費用は両者で負担し、大半は突哨山と身近な自然を考える会で負担するということです。

工藤（稔） 案内看板の件ですが、前回の会議の時に私も提案したんですが、それが何も反映してない。そしてここに突哨山エリア、または公園、または遊歩道と書いていますが何が言いたいのか意味がわかりません。

出羽 これについては今まで色々な意見が出されました。先ほど言いましたが、今回は看板の表記をどうするかに限って検討していただきたいと思います。

工藤（稔） 遊歩道というだけだとダメなんですか。

出羽 今は遊歩道ではなく、突哨山口とかカタクリ広場口という表記だけですよ。

中村 今は散策路 A、散策路 B という表記になっています。昔はそういう名称だったので、古い表記で書かれています。

工藤（稔） それを遊歩道に変更するだけだとダメなんですか。

出羽 それでも良いかもしれませんが、突哨山遊歩道という表記でも良いかなと思いますけど。単に遊歩道入り口でも良いと思います。

工藤（稔） あえて突哨山と付けなくても良いと思います。

出羽 今まで、突哨山遊歩道や突哨山自然遊歩道など色々な意見が出されたんです。

工藤（稔） 単に遊歩道でいいと思いますが、何か不都合があったんですか。

中村 そのものの始まりは工藤和彦さんの提案からです。場所を説明するのに突哨山と言ってもわからない人が多いが、男山自然公園というとなんか分か

る。突哨山というとその名前から本格的な山をイメージしてこういう遊歩道があることがわからないのではないか、ということから始まったんです。

工藤（稔） この話は多数決で決めることではないと思います。そして私は前回明確に単に遊歩道でいいと言っています。

中村 前は最終的に結論に至っていなかったもので、今回も議題としてあげさせていただきました。

工藤（稔） 遊歩道の名前と全体のエリアの名称は関連していると思います。自然遊歩道という必要はないと思います。

出羽 みなさんどう思いますか。遊歩道の名称を検討するのは問題ないと思います。

寺島 この看板はいつ作成する予定ですか。

中村 今年度の予算でやりたいと思っています。

寺島 まだ少し時間がありますので改めて検討してはいかがでしょうか。今問題提起もありましたので次回検討ということではいかがでしょうか。

寺島 先ほど情報発信の項目でインスタグラムという提案がありましたが何かご意見ありますか。

全員 特になし。

寺島 予算案についてはいかがでしょうか。

出羽 それと合わせて地域運動史についても確認をお願いします。

工藤（稔） 地域運動史の出版委員会というのは初めてですね。

出羽 出版委員会という名前がいいかどうかはわかりませんが、原稿を書いた人たちを中心に出版に向けたグループを作って進めていこうということです。

寺島 確認しますが、地域運動史は突哨山運営協議会と突哨山と身近な自然を考える会の共著にするということ。費用は両者で出すが大半は突哨山と身近な自然を考える会が出すということ。そして今日の総会で提案して確認をしてもらうということですね。

工藤（稔） 出版委員会の話は初めて聞きました。

出羽 先日の突哨山と身近な自然を考える会の集まりでは、その話は決めませんでしたね。

寺島 当初は突哨山運営協議会の記念誌を作ろうということだったので協議会だけで進めてきましたが、編集の内容を突哨山全体の運動史にまで広げたこ

と。それからお金を突哨山と身近な自然を考える会に負担してもらうというふうに広がったので編集も両者でやりたいということですね。

寺島 この後、今年度の総会までの活動報告もあるんですが、それも全部含めて新年度の計画案など承認をいただきたいと思います。承認いただける場合は拍手をお願いいたします。

全員 拍手

10、報告事項

(1) これまでの活動報告

・4月6日 突哨山全山クマ痕跡調査（もりねっと）

＜出羽、高橋、市公園みどり課笹川、比布町篠原、もりねっと3名＞



・4月15、26日 カタクリ広場ハウス修理（突哨山と身近な自然を考える会）＜出羽、黒川、桐、木村、工藤（稔）、もりねっと3名＞



・4月18日 ぴっぷ雪山探検ツアー（比布町教育委員会）

＜桐、澤田、市教育委員会向井、中村＞ 参加者8名



- ・ 4月20日 近二小5、6年突哨山活動（もりねっと協力）
白樺樹液採集＜黒川、中村＞



- ・ 4月22日 花案内人勉強会＜出羽、黒川、舟橋、木村、もりねっと2名＞
参加者12名



- ・ 4月22日 突哨山駐車場トイレ設置（もりねっと）
- ・ 4月24日 ぴぴの路整備作業（比布町）＜桐、木村、中村＞参加者20名



・ 4月25日 花案内人現地実習＜黒川、もりねっと2名＞ 参加者9名



・ 4月29日～5月5日 花案内人活動
 ＜協議会：黒川、木村、舟橋 一般：7名 もりねっと：1名＞



・ 5月6日 近二小5、6年突哨山活動（もりねっと、黒川協力）
 突哨山の歴史、保全と利用



・ 5月6日 近二小3、4年突哨山活動（もりねっと、黒川協力）突哨山の動物



・ 5月13日 近二小3、4年突哨山活動（もりねっと協力）春の突哨山



・ 5月14日 比布町長びびの路視察＜澤田、桐、木村、中村＞



・ 5月18日 ササカタクリ調査



・ 5月19日 松本氏昆虫調査同行



- (2) 突哨山を巡るランニングコース・サイクリングコースの設置について
旭川市観光スポーツ交流部観光課によってアイヌ文化の体験を意識したランニングコースとサイクリングコースが設置されました。ランニングコースは突哨山の遊歩道を通り、サイクリングコースは男山自然公園の南端付近を通っています。

添付資料 10

工藤（稔） これは事前に何かあったんですか。

中村 事前に連絡はありませんでした。計画段階で公園みどり課さんにも事前に話がなくて、決まってからこういうのが決まりましたと話が来たそうです。観光課ですからいかにしてお客さんを集めるかということで、こういう企画を考えたんだと思います。

工藤（稔） 公園みどり課にも相談がないというのはおかしいですね。

出羽 突哨山は自然環境の保全を目的に旭川市と比布町が買い取った初めての事例だと思います。ここは緑のネットワークの要になる場所だと思います。人に来てもらって利用してもらうというのは大事なことです。利用と保全を兼ね合わせることをどう考えるかということだと思います。これを見るとまさに観光で海外から人を呼びたいということをはっきりうたっています。最近突哨山に研究調査で入る人が増えています。嵐山もそうです。そういう調査は非常にありがたいことです。ここでは誰でも何をやってもいいという場所ではなく、ちゃんとした計画を出してもらって、この場で検討して、自然を傷つけないやり方でやってもらうと。そして成果は還元してもらうと。こういうことはお互いに理解しながら進めないと。しかもこれはアイヌのことも非常に強くうたっているんですが、へたをすると観光に利用してしまうという側面も強くなりがちになる。もう少し内容を検討していく必要があるのではないかという印象を持っています。

山本 歩道を管理している立場から言うと、一つはクマがいるかもしれない場所に高速で接近してしまうという問題があります。のんびり歩いている人に走る人が追い越したり対向したりすると接触の危険性もある。管理側からすると走ることを想定していないので困ったもんだなあというふうに感じています。

中村 ランニングする人にたまに会いますが、とても走り安くていい場所だと言われます。

出羽 障害を持つ子供が運動のために歩いているというのもあります。

中村 これに関してはもう決定していることなので報告という形になってしまい

ます。協議会から意見があれば観光課の方へ伝えることはできます。

寺島 突哨山という同じフィールドを共有するわけですから行政の各セクションの中だけで検討するのではなく、関係するところと相談するべきだと思います。比較できるかどうかわかりませんが国立公園でも利用に焦点が当たっていて、国立公園満喫プロジェクトというのがあります。それが今阿寒なんかで実施されています。例えば夜にしか鳴かないシマフクロウの鳴き声を聞こうとか。いろんな企画をするんですが、レーザー光線を使って映像を映し出そうとか。それが公園の魅力を引き出す満喫プロジェクトの一つになっているというような、ちょっとおかしい企画なんです。そういうこともあるのでやっぱりそのフィールドを共有している団体やグループと意見交換をしてから企画を立てるべきだと思うんです。

出羽 観光を中心とした自然ではなく、自然を中心とした利用、そういう形で意見交換はどこかでしていく必要があると思います。

工藤（稔） これは協議会として行政に対して意見を出した方がいいと思います。

出羽 これはアイヌの問題も絡んできますから。

工藤（稔） それは別だと思います。

出羽 我々としては別ですが、ただ突哨山もアイヌの遺跡がありますし全く無関係ではないと思います。そういうことをきちんと理解した上でやってもらわないと。まず、申し出の前に担当部署と意見交換をすると、その上で意見書を出すということがおそらく必要になると思います。

桐 今回議題になかったんですが、前回協議会の中で谷渡りルートから工藤和彦さんのギャラリーの方へ新しいルートをつけるという話がありました。何が目的で新しい道をつけるのか、ちょっと話をお聞きしたいです。

中村 前回、協議会のメンバーの方からあの場所に道ができると駐車場が使えるんじゃないかと、そこから谷渡りルートに入れるので短い時間で見て回れるということでした。ただし問題は工藤さんの敷地を通ります。工藤さんとしてはお客さんに来てもらえるようになるということもあって了承していただいているということです。前回の協議会では一度候補地を歩きましたという話になりました。今回、議題にあげるのを忘れてしまいました。すみませんでした。

桐 私は道が多すぎだと思います。今回の場合は何を目的にこのコースを作るのかということが知りたいです。

出羽 もともと道はあったんですが、人の敷地を通るので今は使わないようにしてるんです。

桐 それは承知していますが、新たに道をつける目的というか何のために道をつけるのかというのが見えないんです。便利になるのはいいんですが。

中村 まだ決定ではないので一度みなさんで現地を見て検討しましょう。

(3) 今後の予定

- ・突哨山駐車場、遊歩道の草刈り（もりねっと） 6月
- ・カタクリ広場草刈り（突哨山地と身近な自然を考える会） 6月
- ・倒木の搬出と配布（ボランティア募集） 6月
- ・外来植物抜き取り作業 7月
- ・第1回協議会 7月後半（去年は7月27日(月)）

中村 これに加えて先程の新ルートをみなさんで歩く機会を設けたいと思います。次回の協議会の日程を決めていただきたいです。

出羽 次回は7月26日（月）18時半からとします。

以上